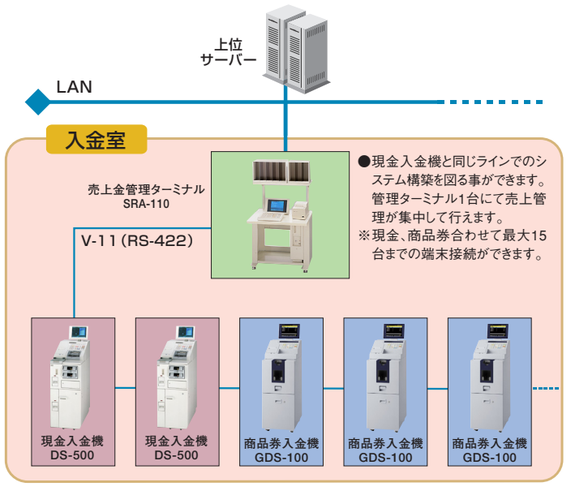
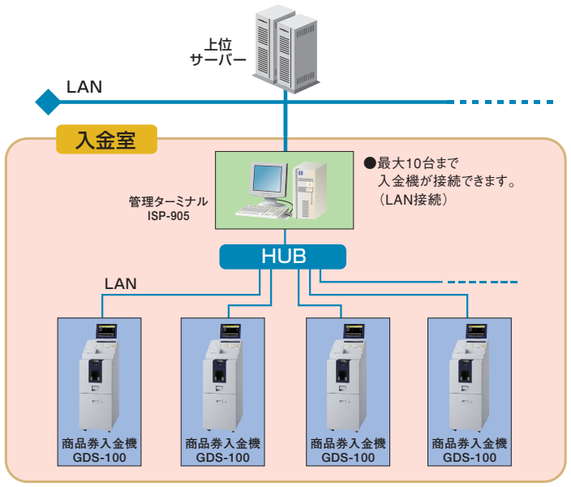
■システム構成例

＜現金・商品券一元管理システム＞



＜商品券管理システム＞



■仕　様

＜GDS-100＞

本体部	外形寸法	400（W）×700（D）×1,369（H）mm
	質量（重量）	約140kg
	使用電源	AC100V±10V　50／60Hz
	消費電力	160W
ターミナル部	LCD表示	10.4インチカラー液晶ディスプレー表示　40字×25行
	プリンター	ドットインパクト方式（漢字対応）
	外部接続	V-11×3
読取部	対応券寸法	長手135～178mm　短手73～84mm　厚み0.084～0.181mm
	読取文字	OCR-B　JAN13
	登録券数	200種類
投入部	投入枚数	最大200枚／回
	投入方法	混合長手
	処理スピード	約300枚／分
	リジェクト容量	100枚
収納部	収納容量	1,800枚×2　合計3,600枚

＜管理ターミナル用PC＞

PC	本体	DOS/V機
	CPU	Pentium Ⅲ 1GHz以上
	メモリ	512MByte以上
	HDD	40G以上×2基（RAID-1）
	グラフィックカード	1024×768以上
	NIC	10／100BASE-T
	メディアドライブ	CD-R、MO、FDD
	パラレルポート	プリンタ接続時必要
	USB	プリンタ接続時必要
FailSafe	RAID	RAID-1（ミラーリング）
	UPS	
CRT	15インチ以上、XGA以上	
OS	Microsoft Windows2000 Professional、Microsoft WindowsXP	
DBMS	Microsoft SQL Server2000 Standerd Edition	

※管理ターミナル用PCも弊社からのご提供となります。

商品券読み取りにあたって

①自社券の識別ソフトの作成が必要。

全国百貨店共通券、ギフト券等全国で一般的に使用頂ける券類の登録は不要ですが、お客様独自（自社）券については識別ソフトの作成が必要となります。（本体には含まれておりません）

②券No.読取条件

商品券OCR文字部の下地に2.5ミリ以上のクリアエリアがないと正しく識別できません。（推奨5.0ミリ以上）

※設定の詳細については、別途お打ち合わせが必要となります。

■消耗品

［ジャーナル］商品名:ジャーナル白2P用／2枚巻（76×60×12）
発注単位50個

［インクリボン］商品名:RC-300P　発注単位50個

※Windows2000 Professional、WindowsXPは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※製品の仕様・デザインの一部を予告なく変更することがあります。
※印刷により、実際の色と異なる場合があります。
※ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用ください。

GLORY

We Secure the Future
思いをかなえる　技術で見つめる　確かな未来

※ GLORY はグローリー株式会社の登録商標です。

グローリー株式会社

本　　社
〒670-8567　兵庫県姫路市下手野1-3-1　TEL（079）297-3131（代表）

通貨システム機器事業本部　流通営業統括部　営業一部
〒101-8977　東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX　TEL（03）5207-3043（代表）

北海道グローリー株式会社

本　　社　〒060-0013　札幌市中央区北13条西17-1-45　TEL（011）707-4111（代表）

このカタログの記載内容は、2009年4月現在のものです。　DG 424 L TT 0409 SU

GLORY

商品券入金機
GDS-100

レジ別精算、済印処理まで自動化。券種・金額別の選別・整理作業もスピーディー。
レジ担当者のダイレクト処理へ。商品券の精算スタイルを大きく変えます。

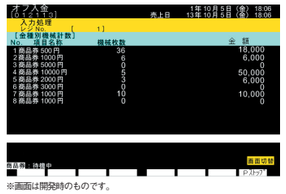
（現在、商品券現物は出納で専任担当者が手作業で券種や金額毎に仕分けし、整理を行なうスタイルがとられています。現金の入金・精算の自動化が進む中で取り残されていたこの分野に、グローリーは業界で初めて身近に使える商品券入金機を開発。商品券処理を手作業から自動化へ移行し、これまでにない業務低減効果をもたらします。）

入金から整理までを、ここまで自動化!

商品券現物の選別・整理、さらに請求準備業務までをサポート。
出納担当者の業務負担を大幅に軽減します。

多種類の商品券を一括入金

発行元や金額の異なる商品券を投入口にセットしてIDカードを通すだけ。計数結果は大型液晶ディスプレーに表示されます。



※画面は開発時のものです。

商品券ナンバー同時読取機能

入金と同時に、商品券ナンバーを自動読み取り。読み取ったデータはFDに保存が可能です。券番データはPCで加工し請求業務用として、活用できます。

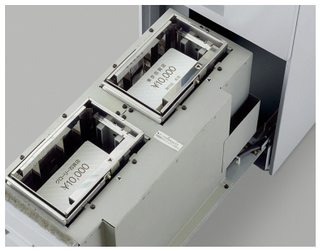
済印自動処理機能（オプション）

商品券の入金時に、再使用防止のために、券面に済印（処理済ライン）を自動押下します。
※リジェクトされた商品券には、押下されません。

▲済印例

多彩な選別・仕分け機能

現物による請求が必要な商品券については、選別モードで指定券の仕分け、抜き取りが可能です。



■選別パターン

1	券種グループ別	A社・B社など商品券の発行元別に分類。
2	券種コード別	A社5000円など、券種と金額の指定による分類。
3	券番号指定抜き取り	特定の券番号を指定して抜き取る。

商品券入金機
GDS-100

導入後のメリット

①精算業務の軽減

簡単なオペレーションにより、レジ担当者自身でも入金処理が可能です。
これにより、出納担当者の作業が大幅に軽減し、売上金の早期確定も可能。

②請求業務の簡素化

入金時に商品券の番号を同時に読み取ります。このデータを活用する事で、
今まで現物にて行っていた他社への請求業務をデータ処理する事が可能です。

③レジ廻り業務も軽減

現金と同様に営業時間中の入金も可能となる為、閉店後の計数チェック等の締め上げ業務も軽減。また、担当者に直接入金させる事で違算時の責任の所在が明確になります。

商品券の入金から回収までの流れ

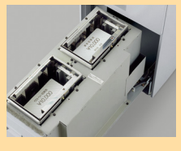
入　金

商品券セット
一度に200枚まで一括投入できます。

▼

IDカード読取
IDカードによる担当者照合で現金入金機とのデータ連携を行います。

▼



収納
処理スピードは毎分約300枚。
2つの金箱へ収納ができます。
1,800枚／1カセット
合計3,600枚

回　収

各レジ毎の入金データをリアルタイムに自動送信されます。

精算後の商品券は一定期間、店内にて保管します。

端末毎のFDをパソコンに吸い上げ、消し込みデータを作成する。

券No.（請求データ）の受け渡し手段についてはお打ち合わせさせて頂く必要があります。（データフォーマット等）

入金から回収処理まで商品券業務のスムーズな運用が図れます。